

令和4年9月30日

報道関係各位

佐倉市 都市部 都市計画課

バスに絵を描こうプロジェクト

～真っ白なバスにみんなでお絵かきしてみよう！～

(最もPRしたいこと)

9月20日は、日本で初めてバスが走った日を記念する「バスの日」です。

その「バスの日」を記念するイベントとして、9月19日（月・祝）に「バスに絵を描こうプロジェクト」を開催しました。

当日は、ちばグリーンバス（株）佐倉営業所に事前申し込みをした子供たちが集まり、真っ白なバスをキャンバスとして佐倉市の豊かな自然や風景を自由に描き、素敵なバスに仕上がりました。

ペイントを行ったバスは、ちばグリーンバスの路線バスとして市内を運行していますので、このバスとの出会いを楽しみにしてください。

バスに絵を描こうプロジェクト（実施済：カッコ内は当初予定）

日時：令和4年9月19日（月）10時30分～（1日目：9月18日・2日目：9月19日）

場所：ちばグリーンバス（株）佐倉営業所（佐倉城址公園大手門跡広場）

参加者：佐倉市民（子どもたち） ちばグリーンバス（株） 佐倉市都市計画課・公園緑地課

参加費：なし

参考画像：（当日の様子）



ペイントされたバスの運行予定

日程	路線	主な運行区間
9月22日（木曜日）～10月2日（日曜日） ※9月24日（土曜日）を除く	下志津線	ユーカリが丘駅～東邦大学佐倉病院正面
10月3日（月曜日）～10月9日（日曜日）	臼井線	志津駅～臼井駅
10月10日（月曜日）～10月16日（日曜日）	神門線	京成佐倉駅～JR佐倉駅～第三工業団地

※上記は運行予定のため、変更になる可能性もあります。

※10月17日（月曜日）以降は、市内各所を運行予定です。

【取材・バスの運行に関するお問い合わせ】ちばグリーンバス株式会社 電話：043-481-0808

(趣旨)**(趣旨説明)**

バスをはじめとした交通事業者は、新型コロナウイルス感染症による利用者の減少、原油価格高騰など厳しい経営状況が続いています。

そのような状況において、地域社会の公共交通としての役割を担っているちばグリーンバス（株）は、バス車両に子供たちに佐倉市をイメージした絵を描いてもらい、その車両が市内各所を走ることで、市民の移動手段としてのバスを身近に感じてもらい、積極的に利用してもらえることを目的として、今回の「バスに絵を描こうプロジェクト」を立ち上げました。

(経緯)

令和元年10月25日の大雨による鹿島川越水被災により、ちばグリーンバスは多くの車両が水没し、使用できなくなってしまう事態となってしまいました。その後、グループ会社の協力により運行のためのバス車両を確保し、運行を継続し市民の移動手段の確保に尽力していますが、そのような経緯により確保した車両であることから、塗装を行っていない無地のバスでの運行を余儀なくされている状態が続いていました。

その車両に対し、利用者からちばグリーンバスのバスかどうかわからない、単色のバスでは寂しい感じがするとの声をいただくことも多くありました。

そこで、千葉県バス協会のバスの日イベントの補助制度を活用するとともに、佐倉市都市計画課、公園緑地課の協力の下、佐倉城址公園にて毎月開催されているイベント「佐倉こそだちフェス」内のイベントとして、子供たちにバス車体に絵を描いてもらうペイントを開催することとなりました。当日は台風の影響もあったことから、急遽、ちばグリーンバス（株）佐倉営業所の車両基地での実施となりましたが、飛び入り参加した佐倉市長と子どもたちの共同作業により、世界で1台の素敵なバスを完成させることができました。

バスへのペイントに当たっては、「佐倉こそだちフェス」の運営に関わり、造形教室（アトリエティエラアール）で子供たちにアートを通じて自由な発想を引き出すお手伝いをしている久本綾さんにデザイン案の作成、塗料の選択、当日の子供たちの指導に全面的なご協力をいただきました。

【本件へのお問い合わせ】

佐倉市役所 都市部 都市計画課（担当：梅澤・檜垣）

TEL：043-484-6164／FAX：043-486-2506／E-mail：toshikeikaku@city.sakura.lg.jp

この情報提供は、各社にファクス送信しました。[送付枚数 2 枚（本票含む）]

【送信元】佐倉市役所 企画政策部 広報課 TEL：043-484-6101／FAX：043-486-8720